

# 市長あいさつ



## ～ 地域活力の創出と安全・安心のまちづくりをめざして ～

地方分権が日々推進されるなか、地域の役割はますます重要となっています。人口減少と少子高齢化社会の進展とともに産業構造の変化や地域経済の低迷が続くなか、これからは、地域の責任と工夫で、自らが未来に向かってまちづくりを担い、地域活力の創出と安全・安心な社会を築く時代となりました。

さて、市街化区域と市街化調整区域、いわゆる線引きに代表される都市計画の基本理念は、現在と未来に生きる市民が、秩序ある都市空間の中で豊かに快適に暮らすことを願って行う「規制と誘導の理念」です。これを「まちづくり」と表現するとき、まちづくりをどのようなルールで進めるべきか、その基本となる方針が本マスタープランとなります。

本市で都市計画マスタープランが最初に策定されてから早や10年の歳月が経過しますが、今日、限られた財源のもとでさまざまな行政課題への対応が求められるなか、「地域活力の創出」と「安全・安心のまちづくり」の実現は、行政だけでなく「民」との連携がテーマになっていくと言えます。

このテーマをもとにまちづくりを進めていくため、私たちは「御殿場型NPM<sup>※</sup>」とともに「市民協働のまちづくり」を一つの行政手段として掲げ、取り組んでいます。本市独自の効率的な行政経営とともに、市民と一緒に英知を絞り汗をかくことが、厳しい都市間競争の時代を生き抜いていくための鍵となるはずです。

現在と未来に生きる市民が、住んでよかったと実感できる、「緑きらきら、人いきいき、御殿場」の実現を目指してまちづくりを進めていくために、まずは10年後、20年後の御殿場市があるべき姿に想いをめぐらせ、本書をご活用されますことを祈念いたします。

結びに、御殿場市都市計画マスタープランの策定にあたり、御殿場市都市計画審議会の委員の皆様をはじめ、多くのご提言をいただきました市議会議員の皆様、マスタープラン懇話会において熱心に議論していただいた構成員の皆様、地域別説明会やみんなの声を活かす意見公募等において様々な意見をお寄せいただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成23年3月

御殿場市長

若林 洋平

※NPMとは、New Public Management（ニューパブリックマネジメント）の略で、「新公共経営」と訳され、行政に民間企業の経営理論や経営手法を導入することで、効率的で質の高い行政サービスの提供を目的とします。また、御殿場型とは、単に効率性だけを追求するのではなく、心が通い、温かさや思いやりをもって、市民とともに行政経営を行っていくことを意味しています。



# 御殿場市都市計画マスタープラン

## 目 次

---

### 第1章 はじめに

1-1	都市計画マスタープランの見直しの趣旨	1-1
1-2	都市計画マスタープランの役割	1-1
1-3	計画の目標年次	1-2
1-4	計画の対象区域	1-3
1-5	計画の位置づけ	1-3

### 第2章 都市状況

2-1	上位計画の概要	2-1
2-2	社会・経済状況の動向とまちづくりの課題	2-4
2-3	まちづくりの課題と市民ニーズを踏まえた 都市づくりのキーワード	2-9

### 第3章 将来都市像

3-1	将来都市像と都市の目標	3-1
3-2	将来フレームの設定	3-3
3-3	将来の都市構造	3-4

### 第4章 全体構想

4-1	土地利用の方針	4-1
4-2	施設整備の方針	4-7
4-3	都市環境計画	4-16

### 第5章 地域別構想

5-1	御殿場地域	5-2
5-2	富士岡地域	5-9
5-3	原里地域	5-16
5-4	玉穂地域	5-23
5-5	印野地域	5-30
5-6	高根地域	5-37

**参考資料**

用語一覧 ----- 参- 1

本文のなかで※印がある用語についての説明

みんなの声を活かす意見公募における主な意見（要旨） ----- 参- 6

名簿 ----- 参- 8